

iNPH

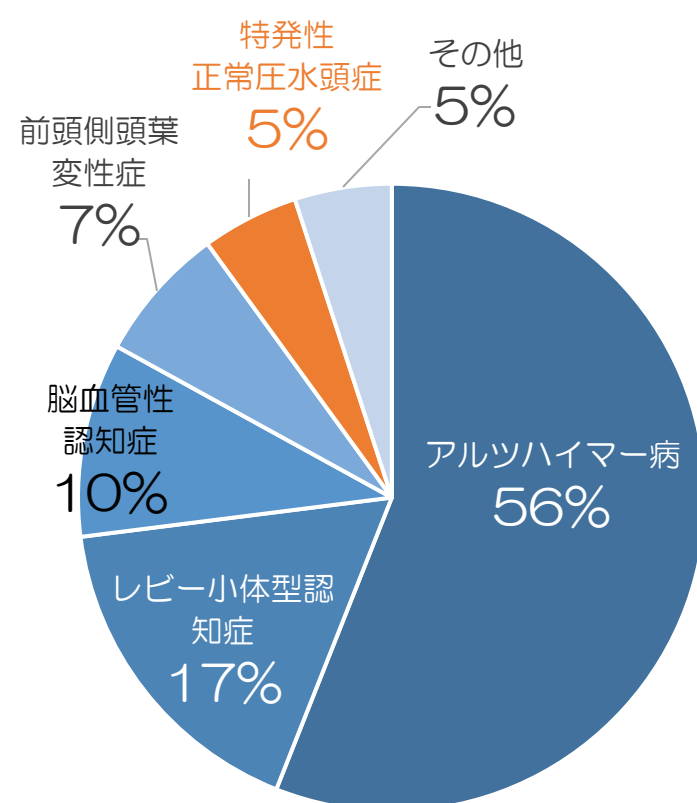
特発性正常圧水頭症

iNPHとは？

昨今、社会問題として注目されている高齢者における認知症の原因はアルツハイマー病や脳血管性認知症など、治療が難しい病気であることが多いのですが、中には少し聞きなれない「**iNPH**」**特発性正常圧水頭症**という病気が原因となっていることもあります。

幸いこの病気は**手術で治る可能性**があります。

日本では 2000年代前半から注目されていて、60歳以上の方なら誰もがかかる可能性があります。



【認知症の原因疾患】

頭の中に「髄液」という液体が過剰に溜まることで脳の働きが鈍くなるため、

①**歩行障害** ②**認知障害** ③**排尿障害**の3つの徴候がみられる原因不明の病気です。

ただし、3つの徴候すべてがそろう場合は約半数とされ、1つまたは2つの徴候だけということもあります。

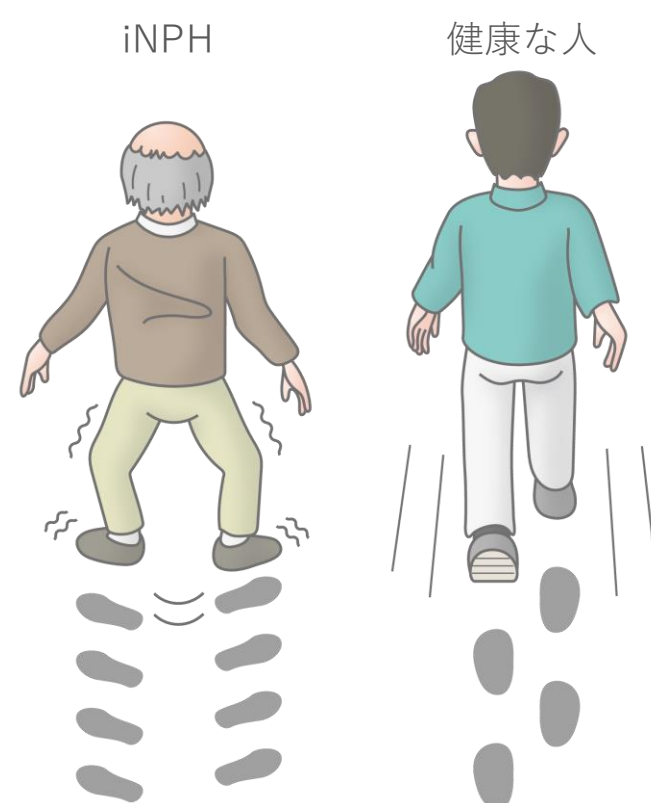
この場合でも歩行障害はほとんどの例にみられます。



3徴候の見分けかた

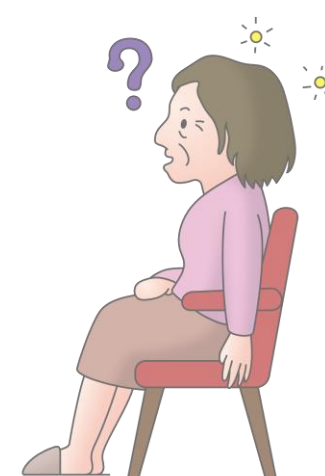
① 歩行障害

開脚・小刻み・足が床から上がりにくくすり足となるので、特に 方向転換が苦手になります。歩きかけの最初の一步目が出にくくなるパーキンソン病の歩行とは少し異なります。



② 認知障害

問いかけに対する反応や動作がゆっくりで、集中力が持続しにくくなります。記憶力が低下し暗算や会話が苦手になります。実際はアルツハイマー病など他の認知症との区別は難しいです。



③ 排尿障害

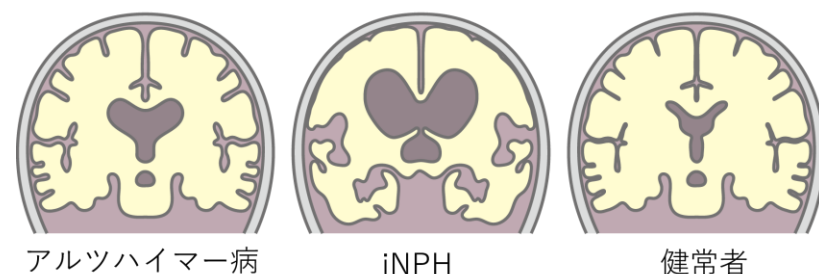
排尿した後も尿の残った感じがあったり、急な尿意でがまんができなくなったりします。進行すると尿を失禁してしまいオムツを使用しなければなりません。



診断のしかた

① CT もしくは MRI による画像検査

脳室(脳の中で髄液をためておく空洞)の拡大や脳脊髄液の不均一な分布といった特発性正常圧水頭症に特徴的な所見の有無を確認します。



② 髄液排除試験(タップテスト)

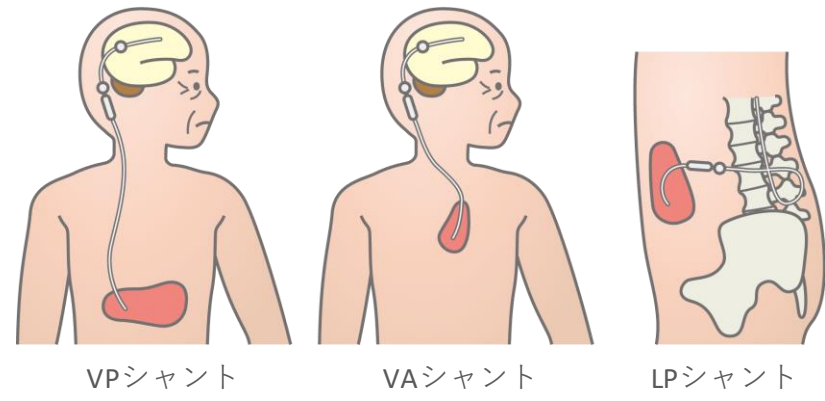
腰背部に細い針を刺して過剰な脳脊髄液を30mlほど排除し、その後3徴候が改善された場合は手術が有効だと判断されます。外来で行うことも可能な検査ですが、より正確に評価するために数日間の入院で行うこともあります。



治療法

① シヤント手術

過剰に溜まった脳脊髄液を排除するための管(シヤント チューブ)を体に埋め込む手術です。脳室腹腔シヤント(VPシヤント)術または腰椎腹腔シヤント(LPシヤント)術が一般的に行われています。全身麻酔による1時間程度の手術で入院期間は1～2週間ほどです。



② リハビリテーション

手術の効果を最大限に発揮させるためには、運動機能や認知機能を回復するための訓練が必要となります。退院後もリハビリテーションを継続することが望まれます。



高齢者は様々な病気が混在していることもあり、必ずしも診断から治療までスムーズにいくというわけではありません。手術により合併症をきたす危険性もあります。しかし、特発性正常圧水頭症は早期発見・早期治療がより効果的ですので、前述したような症状が思い当たるようでしたら、まずは脳神経外科、脳神経内科など専門医にご相談ください。